

# 介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告



枚方市 長寿社会部  
地域包括ケア推進課

## サービス事業の実績

(件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問型	予防訪問事業	2	124	274	441	593	688	897	1045	1187	1286	1410	1545
	生活援助訪問事業	0	0	7	16	24	37	50	54	61	68	69	76
	活動移動支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	通院等移動支援事業	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
通所型	予防通所事業	2	114	311	432	618	704	849	1052	1155	1304	1357	1606
	教室型通所事業					3	4	7	7	8	6	4	2
その他	リハ職訪問通所指導事業		4	8	10	11	14	17	17	12	7	6	6
	リハ職行為評価事業	2	5	13	22	13	8	12	12	6	3	5	9
	栄養士派遣指導事業	0	2	4	4	2	4	4	5	4	4	2	0
介護予防ケアマネジメント		2	187	404	907	766	926	1115	1315	1474	1588	1650	1779

リハ職訪問通所指導事業は5月10日開始、リハ職行為評価事業は4月27日開始、教室型通所事業は8月開始

# 生活援助訪問事業の効果

- 生活支援員養成研修修了者の平均年齢は65歳、就労している生活支援員は、「この歳になって」の後に「**社会に必要とされていることが嬉しい。**」「**社会とつながることができた。**」や「**仲間や友達ができた。**」など、生活支援員の生きがい、役割の獲得につながっている。

## 【生活支援員養成研修修了者数】

平成28年度：299人 平成29年度：219人 合計：518人

- 事業利用者の2割程度は、一定期間（3～6か月）経過後に目標を達成している。

## 【自立の支援に向けて】

地域包括支援センター職員が、ケアプラン作成時に明確な達成可能な目標と期間を設定し、利用者を含む支援チーム全員が目標を達成するための支援を行っていることから、目標達成につながっている。



# リハ職行為評価事業の実績・効果

## 【 実績からの考察 】

- 要支援高齢者の自立支援には、買物・掃除・調理等の家事の支援とリハ職行為評価事業等のリハビリテーション専門職が生活行為評価を関連づけて支援チームで取り組むとよい傾向が示唆された。
- 75歳以上の要支援認定者では、移動行為（外出、買物、散歩、畑や集いの場の往来等）の評価を求める利用者が多く、次に掃除行為が多かった。後期高齢者においても外出や参加の支援が自立促進の鍵となる傾向が示唆された。

## 【 成果 】

- 事業の発展に役立つ実績と事業の形式が完成

# リハ職訪問通所指導事業の効果

- 毎回のように修了式があり、目標を達成していく経過や状況を目の当たりにしていることから、全員が自分が修了する時（目標達成時）をイメージしながら事業に参加している。
- **修了時の目標達成率 = 93.3% (37人)**



利用者の変化を見逃さない工夫(行動変容の促進)

- ・万歩計の配布
- ・目標達成度主観評価表
- ・修了証書授与式

全12回の実施を終えた、事業修了者



# 介護予防ケアマネジメント

- 一人ひとりの自立支援を考え、サービスのマッチングではなく、基本チェックリストを活用し、地域資源も含めた様々な資源から支援している。
- 自立支援型地域ケア会議を活用し、社会資源の開発、協力機関（介護保険事業所等）の拡充に努めている。

	平成28年度	平成29年度
65歳以上人口	107,016人	109,455人
高齢化率	26.4%	27.1%
要支援認定者数	7,292人	7,119人
ケアプラン件数	49,463件	49,215件

# ひらかた元気くらわんか体操の実績

- 週1回集まって体操を実践するグループ数：23
- 体操を取り入れている介護保険事業所数：51
- 活動の中で体操を取り入れている団体等：104  
(うち、高齢者居場所51か所)

その他、イオン枚方店と平和堂（アルプラザ）で地域包括支援センターが定期的（毎週）体操を実施

毎朝8時50分からFMひらかたで放送



# ひらかた元気くらわんか体操の効果

- 4～6か月毎に5つの測定等で、多様な効果を検証

体力測定（4種）

- ①握力測定（全身の筋力変化の指標）
- ②長座位体前屈測定（全身の柔軟性の変化の指標）
- ③開眼・片足立ち測定（バランス感覚の変化の指標）
- ④2STEP検査（ロコモ度“転びやすさ”の変化の指標）

認知機能測定

かなひろい検査（注意力の変化の指標）

主観的健康観の測定

5段階で評価（健康度の変化の指標）



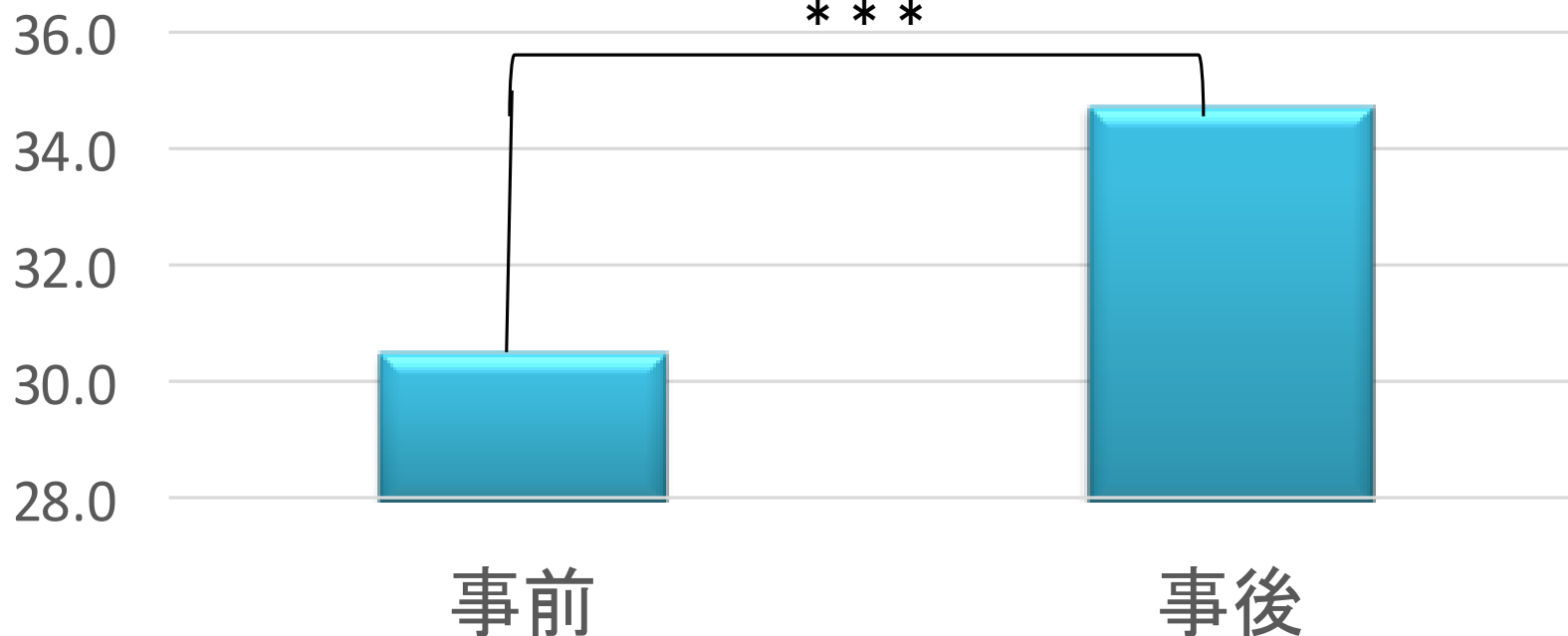
# 主にラジオ体操の効果

長座位体前屈測定・柔軟性の変化

n=206人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の全身の柔軟性が向上  
\*\*\* P<0.001

体前屈  
(cm)

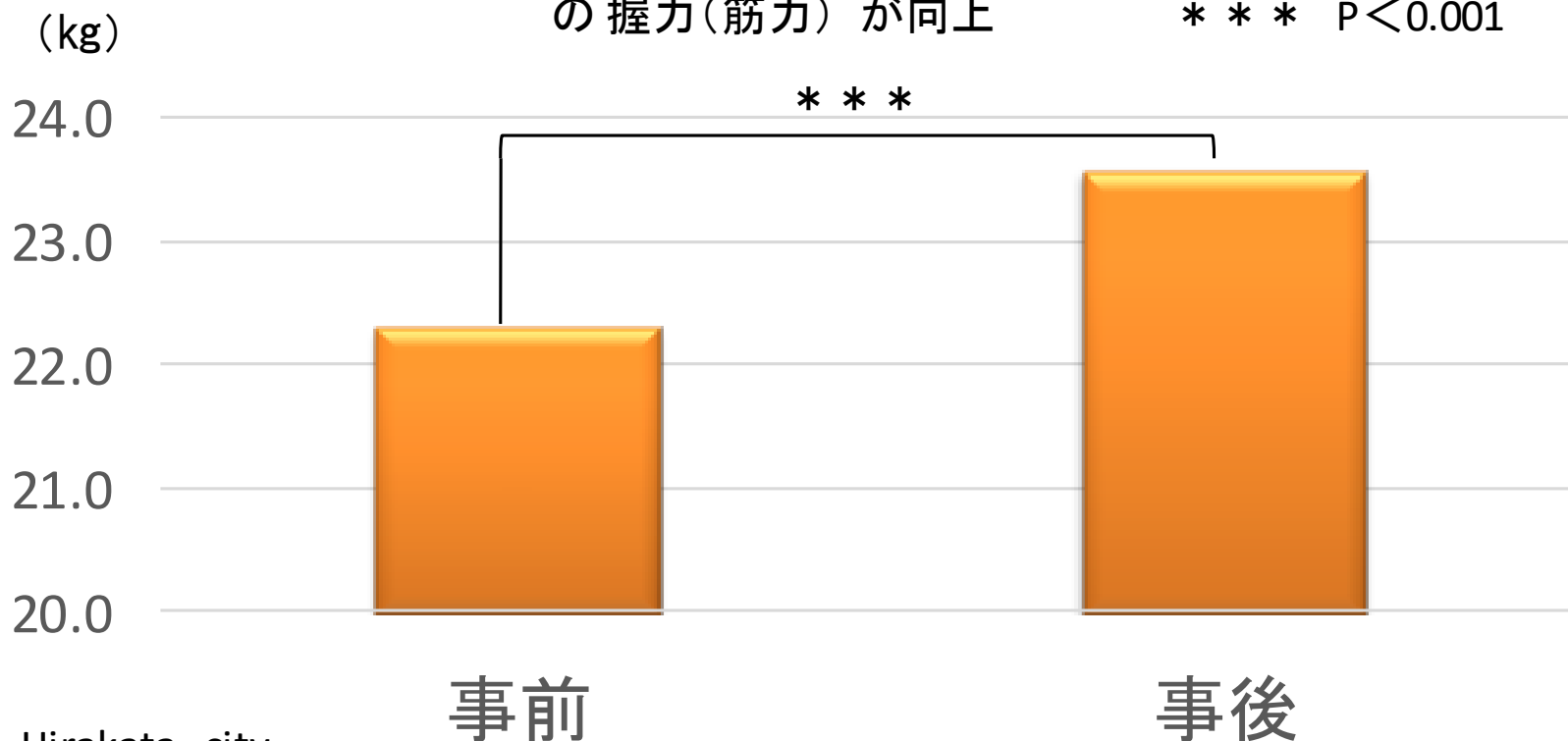


# 主にロコモ体操の効果

握力測定・筋力の変化

n=279人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の握力(筋力)が向上  
\*\*\* P<0.001



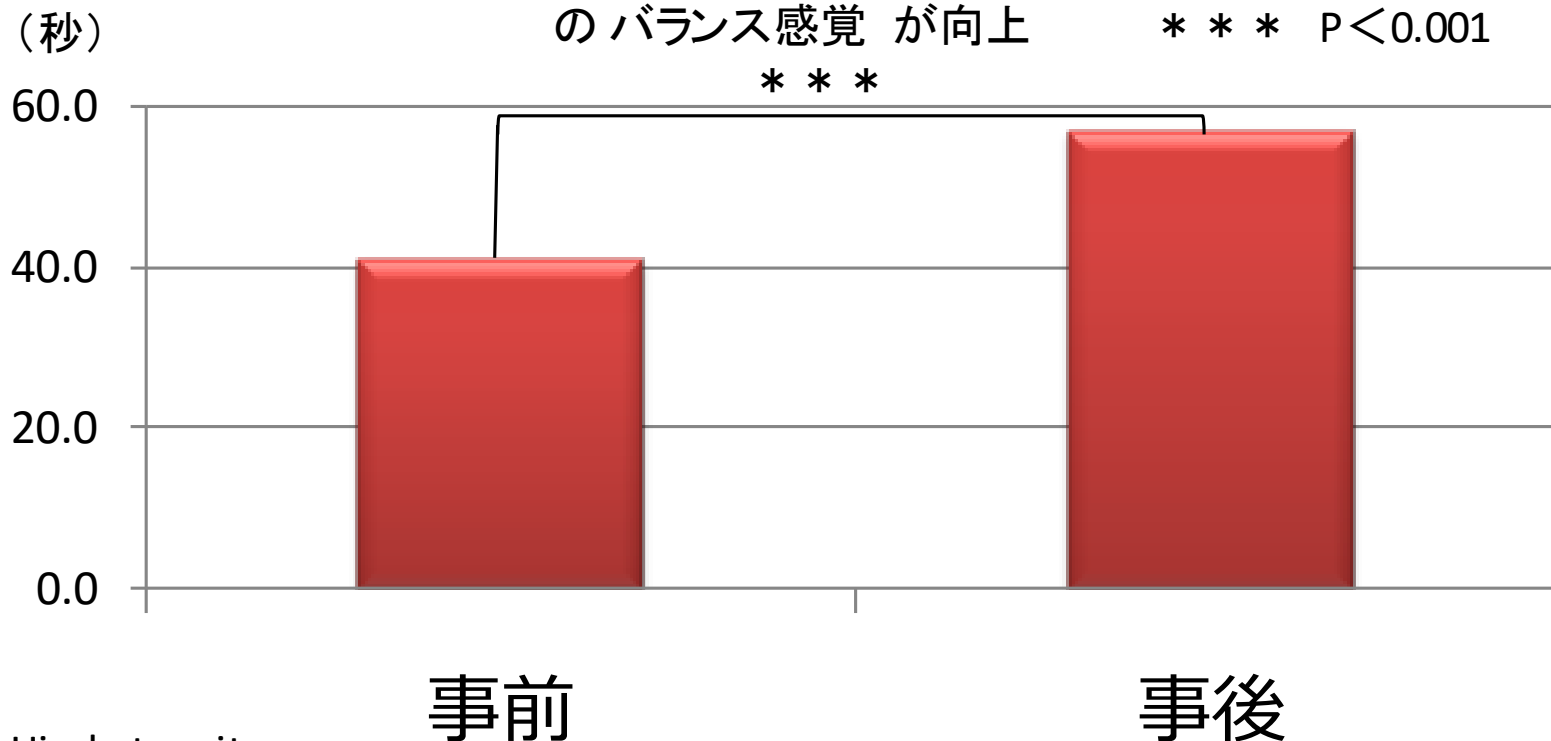
Hirakata city

# 主にロコモ体操の効果

片足立ち測定・バランス感覚の変化

n=291人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後のバランス感覚が向上  
\*\*\* P<0.001



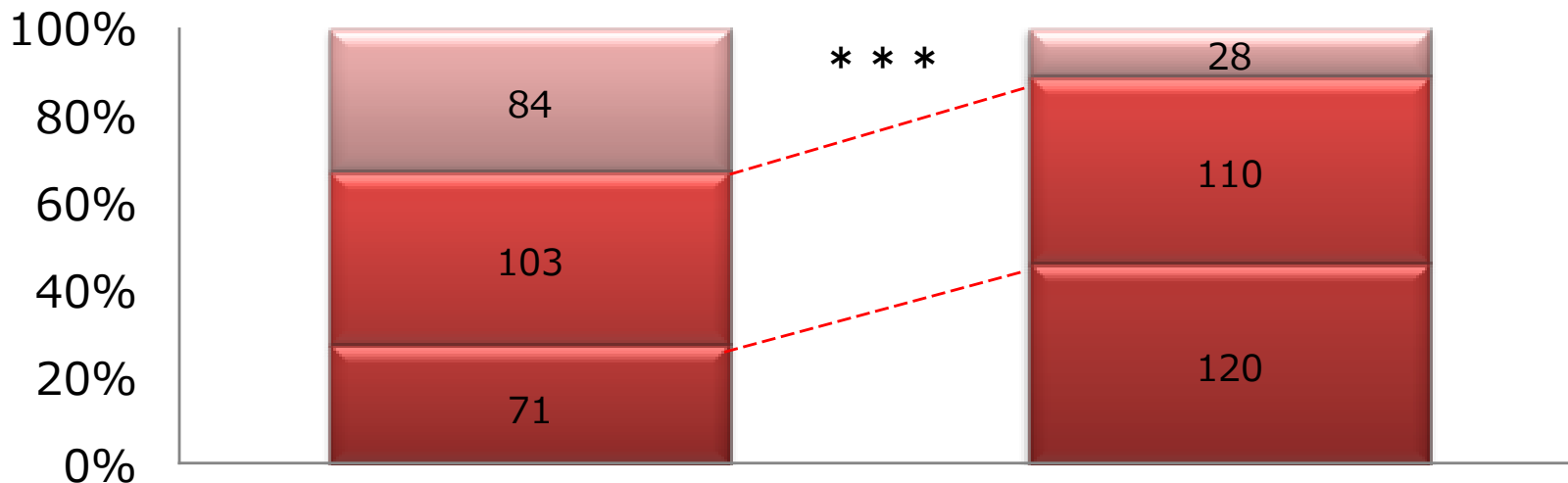
Hirakata city

# 主にロコモ体操の効果

## ロコモ度測定「2 STEP」転びやすさの変化

n=258人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後のロコモ度(転びやすさ)が改善 \*\*\* P<0.001



カイ二乗検定

事前

事後

■ 良好域

■ 要予防域

■ 要改善域

1.3 ≤ 2S値

1.1 ≤ 2S値 < 1.3

2S値 < 1.1

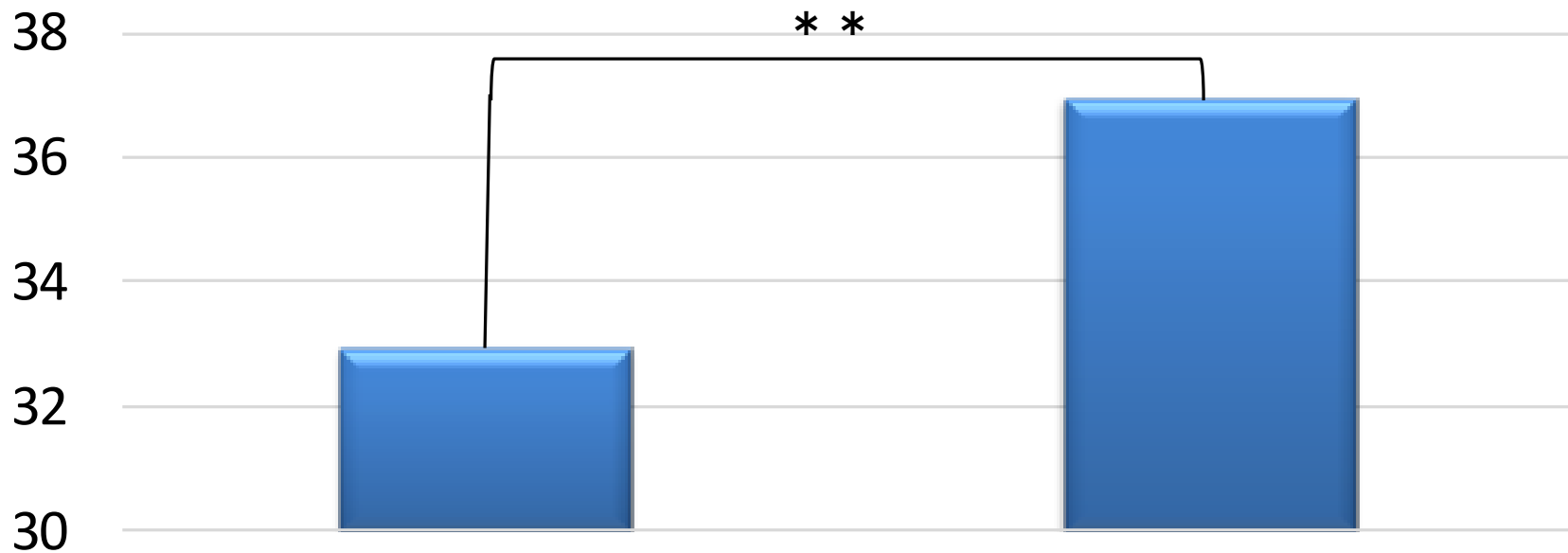
# 主にひらかた体操の効果

かなひろい検査・認知機能（注意力）の変化

n=87人

かな選択数  
(個)

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の  
注意力(認知機能)が向上 \*\* P<0.01

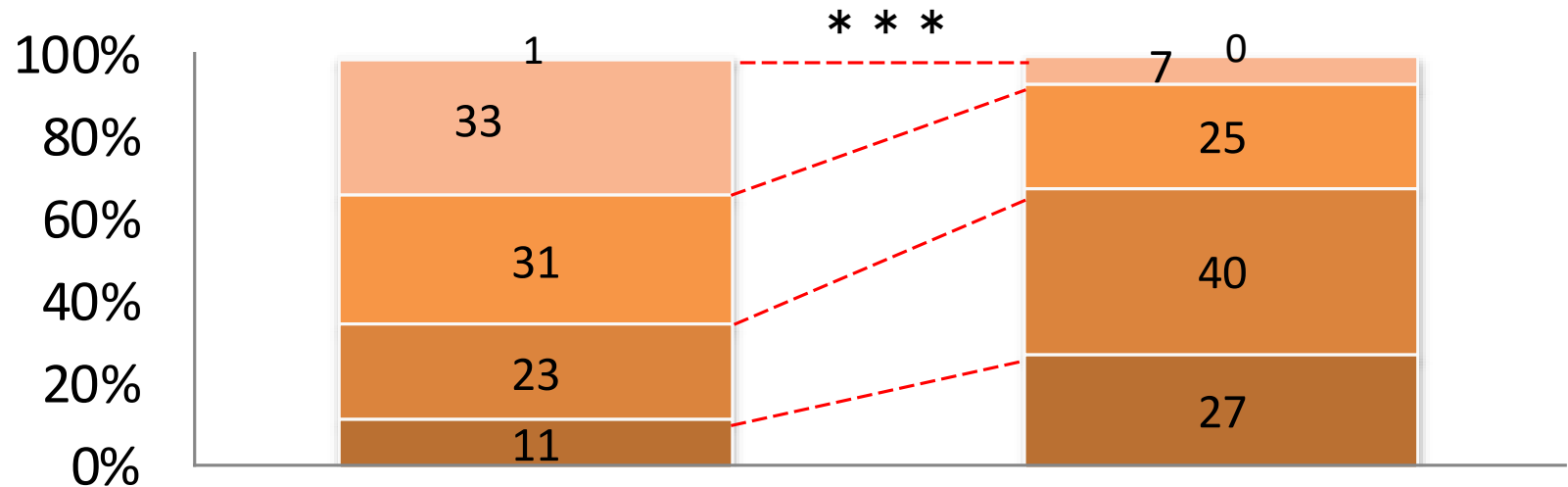


# 集いグループ介護予防活動の効果

## 主観的健康観の変化

n=99人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の『主観的健康観』が向上 \*\*\* P<0.001



カイニ乗検定

- 事前
- よい
  - まあよい
  - ふつう
  - あまりよくない
  - 全くよくない
- 事後

# 地域で自分らしく暮らす

